

環境経営レポート

2020 年版

対象期間 2020 年 1 月～2020 年 12 月



発行日 2021 年 5 月 20 日



環境経営方針	P. 1
会社概要	P. 2
環境経営システム 実施体制	P. 3
環境経営計画 【全社分】	P. 4
環境負荷の現状と環境経営目標 【全社分】	P. 5
環境活動実績と取組結果の評価及び次年度の取組内容 【全社分】	P. 6
本社・八戸支店・十和田営業所の実績と評価	P. 10
次年度環境経営目標及び環境経営計画 【全社分】	P. 11
教育・訓練	P. 13
内部監査	P. 16
環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無	P. 16
代表者による全体の評価と見直し・指示	P. 16



環境経営方針

<基本理念>

株式会社青森共同計算センター(以下、「当社」という。)は、情報処理サービスに関わる活動・製品・サービスを通じて、環境保全に取り組むことが重要な経営課題であると認識し、豊かな自然を未来に伝えるために、全従業員一丸となって環境改善へ取り組んで参ります。

<行動指針>

1. 当社は、次の項目について重点的に取り組みます。
 - (1) 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 水使用量の削減
 - (3) ごみ分別回収の徹底と資源リサイクルの推進
 - (4) グリーン購入の推進
 - (5) 環境に配慮した製品の販売促進・情報提供
 - (6) 5S・3R運動の推進強化による作業環境の改善
2. 環境経営目標と環境経営計画を定め、環境保全へ取り組みながら定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 全従業員の環境への意識向上を図り、地域環境保護活動に貢献します。
4. 環境関連法規や当社が同意するその他要求事項を順守します。
5. 環境経営方針を全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

制定日 2010 年 4 月 20 日

改訂日 2021 年 5 月 10 日

株式会社 青森共同計算センター

代表取締役 石岡 一彦

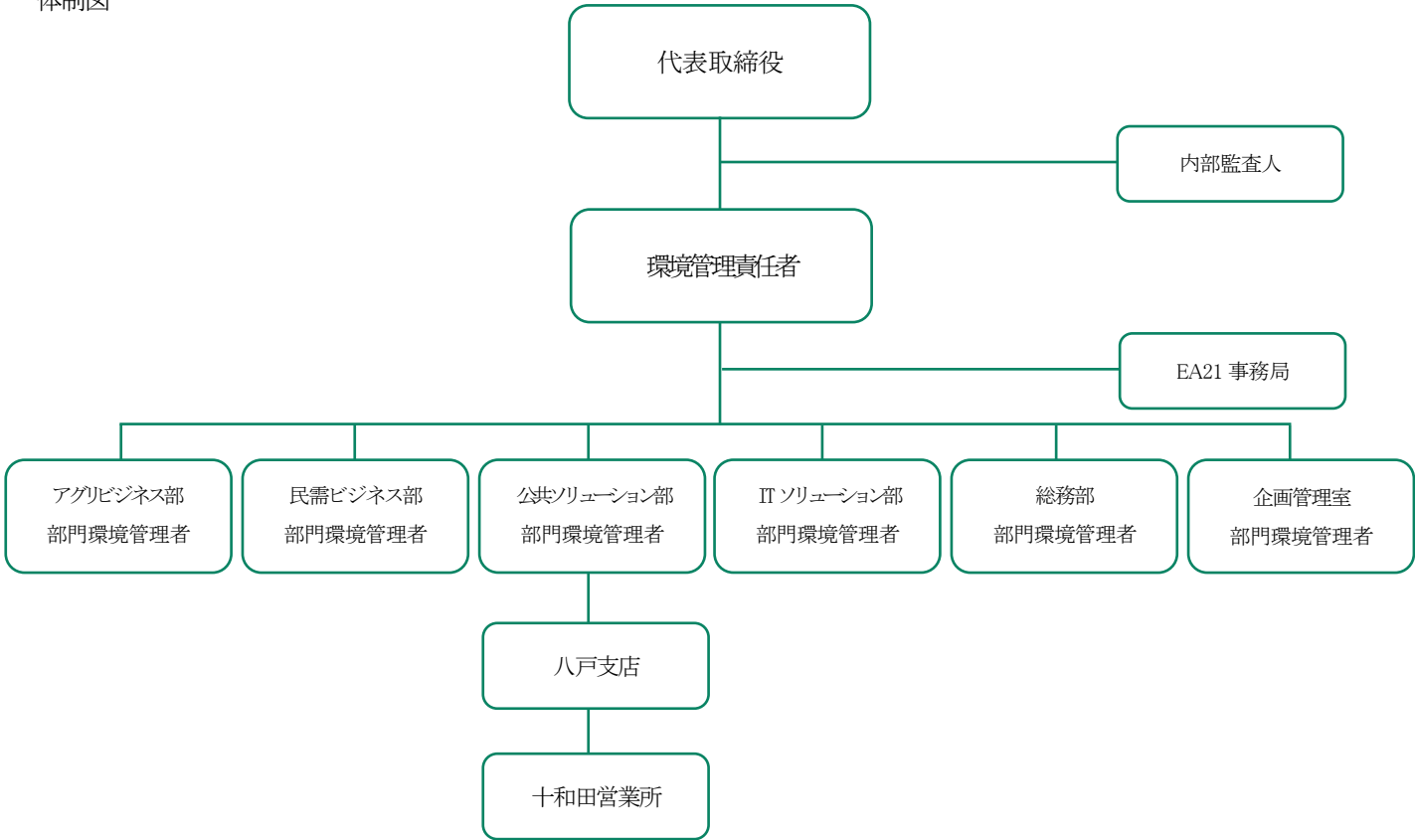


会社概要

事業所名及び代表者名	株式会社 青森共同計算センター		
	代表取締役 石岡 一彦		
事業所所在地	本社	〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目 10 番 26 号	
	八戸支店	〒031-0072 八戸市城下一丁目 12 番 1 号 富士建材ビル 1 階	
	十和田営業所	〒034-0014 十和田市東二十一番町 1 番 33 号	
環境管理責任者及び 連絡先	環境管理責任者	常務取締役 太田 聡	
	連絡先	電話 017-771-1111	
		FAX 017-771-1121	
事業規模	売上高	2,224 百万円(2020.01 ～ 2020.12)	
	従業員	本社	88 名(パート含む)
		八戸支店	1 名
		十和田営業所	4 名
	床面積	本社	1,596.15 ㎡
		八戸支店	54.65 ㎡
		十和田営業所	73.67 ㎡
	社有車	本社	16 台
		八戸支店	1 台
		十和田営業所	2 台
事業活動内容	ITアウトソーシングサービス コンピュータ機器の販売・サポート ITソリューション商品の販売・サポート 業務システムの設計・開発・運用・保守 事務機器・事務用品・コンピュータサプライ品の販売		
会社資格	ISO9001 認証 (JQA-QMA10825) ISO／IEC27001 認証 (JQA-IM0246) プライバシーマーク付与 (第 23820023(08)号) エコアクション21認証 (認証・登録番号 0006618)		
認証・登録の対象範囲	全組織、全活動、全従業員とする。		



体制図



役割、責任及び権限

代表者	1. 環境経営に関する統括責任を有する 2. 環境経営システムの運用に必要となる経営資源（人（時間、技能、知識）・もの（設備、インフラ）・資金（設備投資、教育投資）・情報（顧客ニーズ、技術情報））などを用意する 3. 環境管理責任者を任命する 4. 環境経営方針の策定・見直しを行い、全従業員へ周知する 5. 代表者による全体の評価と見直しを実施する 6. 経営における課題とチャンスの明確化 7. 実施体制の構築
環境管理責任者	1. 環境経営システムが構築・運用・維持管理されることに対して責任を有する 2. 環境経営目標・環境経営計画書を承認する 3. 環境活動結果及び評価（全社の活動評価）を代表者へ報告する
EA21 事務局	1. 環境管理責任者の補佐及び EA21 の推進のための実務を担当する 2. 全従業員に対する教育訓練の計画策定及び実施をする 3. 文書及び記録様式等の見直しをする 4. 環境経営目標・環境経営計画書を作成する 5. 環境活動の成果を取りまとめ、実績の集計・分析をする
内部監査人	1. 環境経営システムの活動全般に対する内部監査を実施する
部門環境管理者	1. 自部門の環境活動の責任を有する 2. 環境活動実施結果の評価及び報告をする（自部門活動評価） 3. 自部門の特定業務に従事するための対応手順を策定する 4. 自部門の特定業務に従事するために定期的に試行及び訓練を実施する
全従業員	1. 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚する 2. 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する



環境経営計画【全社分】

環境負荷項目		取組内容(達成手段)
電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	1. 各種測定及びデータ入力(電力使用量、電気料金) 2. 電力消費量調査 3. 環境活動取組み調査 4. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 5. 定期的な節電の注意喚起の実施 6. クールビズ/ウォームビズに対応した服装の工夫 7. 事務所内の蛍光灯紐スイッチを利用した節電への取組 8. 長時間の離席や外出時、他社員に影響が無い場合は自席の照明を消す 9. 室温設定ルール(冷房使用時 28℃、暖房使用時 20℃)の順守
	灯油使用量の削減	1. 各種測定及びデータ入力(灯油使用量、灯油料金) 2. 環境活動取組み調査 3. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 4. ウォームビズに対応した重ね着などの服装の工夫
	社有車の燃費向上	1. 各種測定及びデータ入力(社有車燃費、ガソリン使用量、ガソリン料金) 2. 環境活動取組み調査 3. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 4. 「エコドライブ 10 のすすめ」の励行 5. 「エコドライブ 10 のすすめ」カードを取り付け、運転前に確認
水使用量の削減		1. 各種測定及びデータ入力(水使用量、水道料金) 2. 環境活動取組み調査 3. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 4. 手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行 5. トイレ洗浄水量の節水を励行
ごみ分別回収の徹底と資源リサイクルの推進	一般廃棄物排出量の削減	1. 各種測定及びデータ入力(一般廃棄物排出量、一般廃棄物料金) 2. 環境活動取組み調査 3. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 4. 会議資料等の簡素化、配付資料の削減 5. 両面、集約等の印刷及びコピーを徹底 6. ミスコピー防止のため、使用前に設定確認と使用後のリセットを励行 7. 「ごみ分別ルール」の定期的な公開 8. 社内の「ごみ分別ルール」を順守 9. 分別回収ボックスを利用して、ごみ分別を徹底する 10. 裏紙の再利用(個人情報や機密情報が印刷されていないもの)
	産業廃棄物排出量の削減	1. 各種測定及びデータ入力(産業廃棄物排出量、産業廃棄物料金) 2. 環境活動取組み調査 3. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 4. 事業活動で使用している備品(机・イス・PC等)は、長期使用を心掛ける
	資源リサイクルの推進	1. トナーカートリッジのリサイクルを図る
グリーン購入の推進		1. 品目リストの確認
環境に配慮した製品の販売促進・情報提供		1. 環境活動取組み調査 2. 環境配慮型商品の販売、情報提供 3. 業務効率的なリノベーション提案・販売
5S・3R 運動の推進強化による作業環境の改善		1. 環境活動取組み調査 2. 「ごみ分別ルール」の定期的な公開 3. 分別回収ボックスを利用して、ごみ分別を徹底する 4. 事務室内の環境美化 5. 会社敷地内の草取りや芝生の手入れ 6. エントランス等の観葉植物の手入れや事務室内の環境美化
環境保護活動への貢献		1. 地域の清掃活動(問屋町合同清掃)に参加(4月～10月/年7回)
法令順守		1. 環境関連法規等見直し(法改正、自治体のHPの確認を含む) 2. 環境関連法規等の順守状況評価 3. 産業廃棄物業者の許可の確認 4. マニフェスト伝票交付者による交付等状況報告 5. 環境活動取組み調査 6. 空調機の簡易点検(年4回実施) 7. 空調機の定期点検(総務部…3年に1回実施 運用サービス課…1年に2回実施)
環境コミュニケーション		1. 環境経営レポートの公開 2. 四半期毎の環境活動取組み状況報告 3. 社内GW(サイボウズ)の掲示板を利用した環境に関する情報発信
化学物質使用量の削減		1. 指定化学物質等取扱事業者からの情報(SDS)を確認



環境負荷の現状と環境経営目標【全社分】

環境負荷の現状

環境負荷項目		年度	単位	2018 年度 実績	2019 年度 実績	2020 年度 実績
電力、燃料の消費に伴う 二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減		kWh	753,325	729,981	743,832
	灯油使用量の削減		L	1,424	1,382	1,174
	社有車の燃費向上		km/L	15.90	16.38	16.74
	総二酸化炭素排出量 ※1		kg-CO ₂	440,329	429,072	431,220
水使用量の削減	上水		m ³	1,330.0	1,153.0	1,132.0
ごみ分別回収の徹底と 資源リサイクルの推進	一般廃棄物排出量		kg	5,278.0	3,958.9	6,464.5
	古紙リサイクル率		%	77.3	74.3	81.3
	産業廃棄物排出量		kg	394.1	1,048.7	616.9
	PCリサイクル率		%	18.3	22.0	70.0
化学物質使用量の削減	使用無し		kg	—	—	—

※1 CO₂排出係数は、東北電力の調整後排出係数 0.523 kg-CO₂/kWh(2020 年 1 月 7 日公表)を使用

中期環境経営目標

環境負荷項目		単位	2019 年度 (基準年)	基準 年度比	2020 年度 目標	中期目標			
						2021 年度		2022 年度	
						基準 年度比	目標	基準 年度比	目標
電力、燃料の消費に伴う 二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	kWh	729,981	-0.5%	726,331	-1.0%	722,681	-1.5%	719,032
	灯油使用量の削減	L	1,382	-0.5%	1,375	-1.0%	1,368	-1.5%	1,361
	社有車の燃費向上	km/L	16.38	+0.5%	16.47	+1.0%	16.55	+1.5%	16.63
	総二酸化炭素排出量 ※2	kg-CO ₂	429,072	-0.5%	426,927	-1.0%	424,782	-1.5%	422,635
水使用量の削減		m ³	1,153.0	-0.5%	1,147.2	-1.0%	1,141.5	-1.5%	1,135.7
ごみ分別回収の徹底と 資源リサイクルの推進	一般廃棄物排出量	kg	3,958.9	-0.5%	3,939.1	-1.0%	3,919.3	-1.5%	3,899.5
	産業廃棄物排出量	kg	1,048.7	-0.5%	1,043.4	-1.0%	1,038.2	-1.5%	1,033.0
	古紙リサイクル率	%	74.3	—	74.5%以上	75.0%以上		75.5%以上	
グリーン購入の推進		必要性を考えた上で、環境への負荷が出来るだけ小さい製品を優先的に購入する							
環境に配慮した製品の販売促進・情報提供		環境配慮型商品の販売、情報提供 業務効率的なソリューション提案・販売 顧客使用済PC等機器の回収とリサイクルの推進 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスの向上							
5S・3R 運動の推進強化による作業環境の改善		ごみ分別ルールの徹底 クリアデスクの徹底							
環境保護活動への貢献		地域の清掃活動に参加							
法令順守		法令違反 0 件 国や府省が定めた法令・省令や自治体等が定めた条例・規則等を順守 環境に関連する地域の協定、顧客からの要請、業界団体の取り決め、社内ルール等の順守							
環境コミュニケーション		社内 GW(サイボウズ)の掲示板を利用した環境に関する情報発信 従業員は情報発信を一読する							
化学物質使用量の削減 ※3		環境経営目標の策定は行わず、指定化学物質等取扱事業者からの情報(SDS)を定期的に確認する							

※2 CO₂排出係数は、東北電力の調整後排出係数 0.523 kg-CO₂/kWh(2020 年 1 月 7 日公表)を使用

※3 SDS(化学物質等安全データシート)とは、事業者が化学物質及び化学物質を含んだ製品を、他の事業者へ譲渡、又は提供する際に交付する化学物の危険有害性情報を記載した文書を示す。



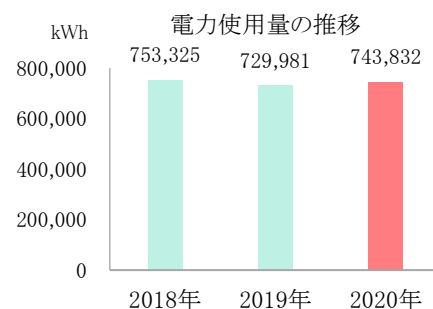
環境活動実績と取組結果の評価及び次年度の取組内容【全社分】

環境活動実績と取組結果の評価及び次年度の取組内容は、以下の通りです。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

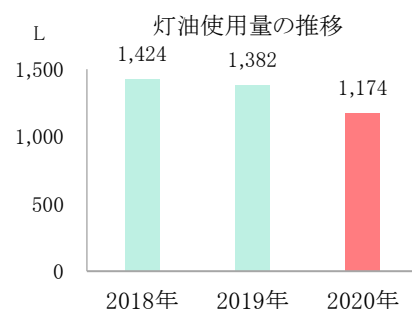
① 電力使用量の削減 <達成状況：目標未達成>

2020 年度目標	726,331 kWh 基準年度比 99.5%
2020 年度実績	743,832 kWh 基準年度比 102.0%
取組内容	1. 各種測定及びデータ入力(電力使用量、電気料金) 2. 電力消費量調査 3. 環境活動取組み調査 4. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 5. 定期的な節電の注意喚起の実施 6. クールビズ/ウォームビズに対応した服装の工夫 7. 事務所内の蛍光灯スイッチを利用した節電への取組 8. 長時間の離席や外出時、他社員に配慮し自席の照明を消す 9. 室温設定ルール(冷房使用時 28℃、暖房使用時 20℃)の順守
取組結果	端末設定作業や、新型コロナウイルスの影響によるリモート会議・Webセミナー等で社内端末の使用増加と、ウイルス感染防止対策で加湿器の使用増加等により、電力使用量が増え、目標未達成となった。
次年度の取組	社内GWを利用した節電に対する注意喚起の継続 廊下等のLED照明導入を検討する



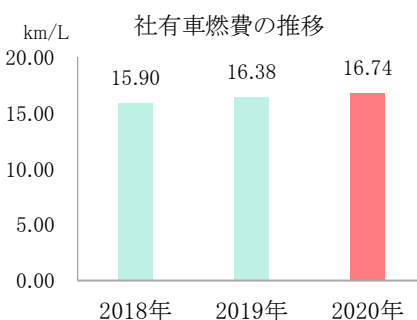
② 灯油使用量の削減 <達成状況：目標達成>

2020 年度目標	1,375 L 基準年度比 99.5%
2020 年度実績	1,174 L 基準年度比 85.0%
取組内容	1. 各種測定及びデータ入力(灯油使用量、灯油料金) 2. 環境活動取組み調査 3. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 4. ウォームビズに対応した重ね着などの服装の工夫
取組結果	室温設定ルールが順守されたことにより目標達成となった。
次年度の取組	社内GWを利用したウォームビズへの対応呼びかけの実施



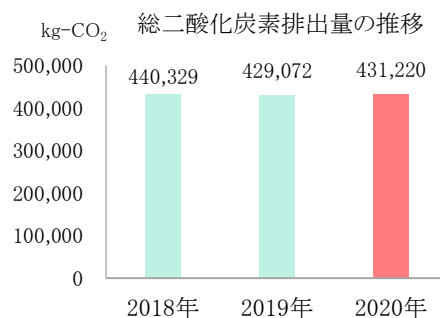
③ 社有車の燃費向上 <達成状況：目標達成>

2020 年度目標	16.47 km/L 基準年度比 100.5%
2020 年度実績	16.74 km/L 基準年度比 102.2%
取組内容	1. 各種測定及びデータ入力(社有車燃費、ガソリン使用量、ガソリン料金) 2. 環境活動取組み調査 3. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 4. 「エコドライブ 10 のすすめ」の励行 5. 「エコドライブ 10 のすすめ」カードを取り付け、運転前に確認
取組結果	社員の意識が高まり、エコドライブが徹底された事と、1月に車両入替(1台)があった事で燃費の向上に繋がりと、目標達成となった。
次年度の取組	計画的にハイブリッド車及び燃費の良い車両への切替に対応していく エコドライブを励行し、二酸化炭素の削減及び燃費の維持に努める



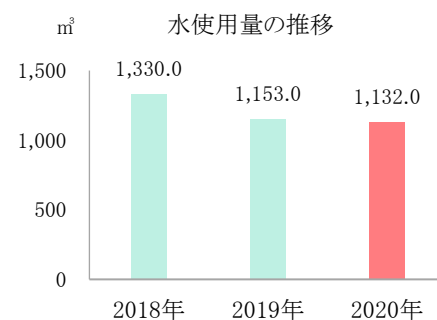
④ 総二酸化炭素排出量 <達成状況：目標未達成>

2020 年度目標	426,927 kg-CO ₂ 基準年度比 99.5%
2020 年度実績	431,220 kg-CO ₂ 基準年度比 100.5%
※ CO ₂ 排出係数は、東北電力の調整後排出係数 0.523kg-CO ₂ /kWh(2020 年 1 月 7 日公表)を使用	



(2) 水使用量の削減 <達成状況：目標達成>

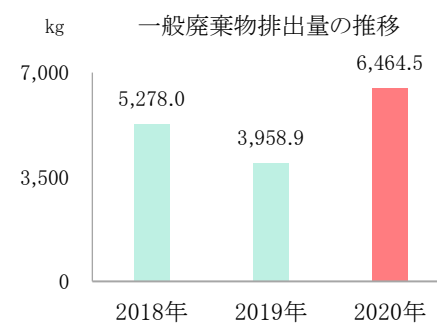
2020 年度目標	1,147.2 m ³ 基準年度比 99.5%
2020 年度実績	1,132.0 m ³ 基準年度比 98.2%
取組内容	1. 各種測定及びデータ入力(水使用量、水道料金) 2. 環境活動取組み調査 3. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 4. 手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行 5. トイレ洗浄水量の節水を励行
取組結果	節水意識が社員に周知された事で、水使用量が減少し、目標達成となった。
次年度の取組	今後の状況によっては、トイレへの擬音装置の取り付けを検討する



(3) ごみ分別回収の徹底と資源リサイクルの推進

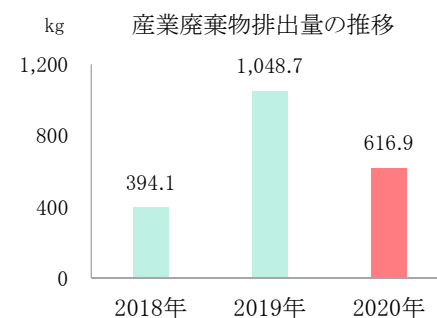
① 一般廃棄物排出量 <達成状況：目標未達成>

2020 年度目標	3,939.1 kg 基準年度比 99.5%
2020 年度実績	6,464.5 kg 基準年度比 163.3%
取組内容	1. 各種測定及びデータ入力(一般廃棄物排出量、一般廃棄物料金) 2. 環境活動取組み調査 3. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 4. 会議資料等の簡素化、配付資料の削減 5. 両面、集約等の印刷及びコピーを徹底 6. ミスコピー防止のため、使用前に設定確認と使用後のリセットを励行 7. 「ごみ分別ルール」の定期的な公開 8. 社内の「ごみ分別ルール」を順守 9. 分別回収ボックスを利用して、ごみ分別を徹底する 10. 裏紙の再利用(個人情報や機密情報が印刷されていないもの)
取組結果	1月と6月に在庫伝票(約1,225 kg)を処分した事と、12月の大掃除作業で大量の廃棄物(約1,856.4 kg)が発生した事により目標未達成となった。また、新型コロナウイルスの影響により本社でペーパータオルの使用へ切り替えた事も要因となった。
次年度の取組	生ごみの減量化・再利用化を検討し、対応していく ペーパーレス化の推進



② 産業廃棄物排出量 <達成状況：目標達成>

2020 年度目標	1,043.4 kg 基準年度比 99.5%
2020 年度実績	616.9 kg 基準年度比 58.8%
取組内容	1. 各種測定及びデータ入力(産業廃棄物排出量、産業廃棄物料金) 2. 環境活動取組み調査 3. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 4. 事業活動で使用している備品(机・イス・PC等)は、長期使用を心掛ける
取組結果	基準年と比較して、社内の機器入替が少なく、産業廃棄物の排出が減少した事で、目標達成となった。
次年度の取組	使用済PC等の再資源化に取組み「資源の有効活用」に努める



③ 資源リサイクルの推進 <達成状況 : 目標達成>

2020 年度目標	古紙リサイクル率 74.5% 以上
2020 年度実績	古紙リサイクル率 81.3% (古紙回収量 5,247.4kg)
その他資源ごみ等の回収実績	トナーカートリッジの回収実績 1,229 本 (社内分 102 本) PCリサイクル 432 kg (PCリサイクル率 70.0 %)
取組内容	トナーカートリッジのリサイクルを図る
取組結果	シュレッダー、古紙回収によるリサイクルの徹底により、目標達成となった。
次年度の取組	社員へ取組内容を周知し、定期的に取り組順守状況を確認する

(4) グリーン購入の推進 <達成状況 : 目標達成>

2020 年度目標	必要性を考えた上で、環境への負荷が出来るだけ小さい製品を優先的に購入する
2020 年度実績	1 品目増 (87 品目→88 品目)
取組内容	品目リストの確認
取組結果	今年度は前年度より 1 品目増加した。(購入品目:ラバーグリップシャーペン)
次年度の取組	取組内容の順守に努める

(5) 環境に配慮した製品の販売促進・情報提供 <達成状況 : 目標達成>

取組内容	1. 環境活動取組み調査 2. 環境配慮型商品の販売、情報提供 3. 業務効率的なソリューション提案・販売
取組結果	環境活動取組み調査結果から、営業部門等が継続的に環境に配慮した製品の販売促進・情報提供に努めている事が確認されたため目標達成とする。
次年度の取組	社員へ取組内容を周知し、定期的に取り組順守状況を確認する

(6) 5S・3R運動の推進強化による作業環境の改善 <達成状況 : 目標達成>

取組内容	1. 環境活動取組み調査 2. 「ごみ分別ルール」の定期的な公開 3. 分別回収ボックスを利用して、ごみ分別を徹底する 4. 事務室内の環境美化 5. 会社敷地内の草取りや芝生の手入れ 6. エントランス等の観葉植物の手入れや事務室内の環境美化
取組結果	環境活動取組み調査結果から、ごみ分別ルールの徹底を心掛けている事が確認されたため目標達成とする。
次年度の取組	社員へ取組内容を周知し、定期的に取り組順守状況を確認する 詰め替え製品(コーヒー・食器用洗剤・ボールペン替芯等)の使用及び購入

(7) 環境保護活動への貢献 <達成状況 : 目標達成>

2020 年度実績	地域の合同清掃活動に全日程参加 敷地内の緑化(6月～9月まで芝刈・雑草取りを行った)
取組内容	地域の清掃活動(問屋町合同清掃)に参加(4月～10月/年7回)
取組結果	本社では、地域の合同清掃活動(7回)に全日程参加した。 八戸支店や十和田営業所では、「事務室内の環境美化」への取組みを行ったことから目標達成とする。
次年度の取組	社員が協力して、地域清掃活動に参加する 社内環境美化に努める

問屋町合同清掃



本社 敷地内の芝刈作業



(8) 法令順守 <達成状況 : 目標達成>

2020 年度実績	法令違反 0 件
取組内容	1. 環境関連法規等見直し(法改正、自治体の HP の確認を含む) 2. 環境関連法規等の順守状況評価 3. 産業廃棄物業者の許可の確認 4. マニフェスト伝票交付者による交付等状況報告 5. 環境活動取組み調査 6. 空調機の簡易点検(年 4 回実施) 7. 空調機の定期点検(総務部…3 年に 1 回実施 運用サービス課…1 年に 2 回実施)
取組結果	法令違反は 0 件であり、環境活動取組み調査結果からも順守している事が確認されたため目標達成とする。
次年度の取組	社員へ取組内容を周知し、定期的に取り組順守状況を確認する

(9) 環境コミュニケーション <達成状況 : 目標達成>

2020 年度実績	社員への環境に関する情報発信 31 件
取組内容	1. 環境経営レポートの公開 2. 四半期毎の環境活動取組み状況報告 3. 社内GW(サイボウズ)の掲示板を利用した環境に関する情報発信
取組結果	内部コミュニケーションとして事務局が発信している環境に関する情報について、環境活動取組み調査結果から、社員がそれぞれ理解している事が確認されたため、目標達成とする。
次年度の取組	社員へ取組内容を周知し、定期的に取り組順守状況を確認する



本社・八戸支店・十和田営業所の実績と評価

2020 年度の実績は、以下の通りです。全社において環境経営計画(P.4)に沿った内容で活動しました。

次年度以降も継続して取り組みます。 ※CO₂排出係数は、東北電力の調整後排出係数 0.523 kg-CO₂/kWh(2020 年 1 月 7 日公表)を使用

本社

評価: 目標達成→ ○ 目標未達成→ ×

環境負荷項目		単位	2019 年度 (基準年度)	基準年度比	2020 年度 目標	2020 年度 実績	評価
電力、燃料の消費に伴う 二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	kWh	722,542	-0.5%	718,929	735,308	×
	灯油使用量の削減	L	本社では 2017 年 4 月より事務所の空調設備燃料が灯油から電気に変更し、灯油使用は緊急時での自家発だけとなる為、目標からはずしました。				
	社有車燃費の向上	km/L	16.39	+0.5%	16.48	16.71	○
	総二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	417,342	-0.5%	415,256	420,618	×
水使用量の削減		m ³	1,086.0	-0.5%	1,080.6	1,066.0	○
ごみ分別回収の徹底と 資源リサイクルの推進	一般廃棄物排出量	kg	3,927.4	-0.5%	3,907.7	6,453.8	×
	古紙リサイクル率	%	74.1	—	74.5%以上	81.1	○
	産業廃棄物排出量	kg	1,048.7	-0.5%	1,043.4	616.9	○
	PCRサイクル推進	%	22.0	—	—	70.0	—

八戸支店

環境負荷項目		単位	2019 年度 (基準年度)	基準年度比	2020 年度 目標	2020 年度 実績	評価
電力、燃料の消費に伴う 二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	kWh	1,151	-0.5%	1,145	1,305	×
	灯油使用量の削減	L	599	-0.5%	596	571	○
	社有車燃費の向上	km/L	16.57	+0.5%	16.65	16.54	×
	総二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	4,135	-0.5%	4,115	3,312	○
水使用量の削減 ※1		m ³	—	—	—	—	—
ごみ分別回収の徹底と 資源リサイクルの推進	一般廃棄物排出量	kg	7.0	-0.5%	7.0	0.0	—
	古紙リサイクル率	%	100.0	—	86.5%以上	0.0	—
	産業廃棄物排出量 ※2	kg	0.0	—	1.0	0.0	—

※1 水使用量は、共益費に含まれており、実績把握が不可能。

※2 基準年度で廃棄物が発生していない為、目標値は、1 kgとした。(1 人当たりの年間廃棄物排出量を1kgと見なして)

十和田営業所

環境負荷項目		単位	2019 年度 (基準年度)	基準年度比	2020 年度 目標	2020 年度 実績	評価
電力、燃料の消費に伴う 二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	kWh	6,288	-0.5%	6,257	7,219	×
	灯油使用量の削減	L	783	-0.5%	779	603	○
	社有車燃費の向上	km/L	16.06	+0.5%	16.14	17.34	○
	総二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	7,596	-0.5%	7,558	7,290	○
水使用量の削減		m ³	67.0	—	67.0	66.0	○
ごみ分別回収の徹底と 資源リサイクルの推進	一般廃棄物排出量	kg	24.5	-0.5%	24.4	10.7	○
	古紙リサイクル率	%	100.0	—	57.5%以上	100.0	○
	産業廃棄物排出量 ※3	kg	0.0	—	4.0	0.0	—

※3 基準年度で廃棄物が発生していない為、目標値は、4 kgとした。(1 人当たりの年間廃棄物排出量を1kgと見なして)



次年度環境経営目標及び環境経営計画【全社分】

次年度(2021 年)の環境経営目標及び環境経営計画は以下の通りです。

環境負荷項目		次年度環境経営目標				次年度環境経営計画	
電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 ※1	2020 年度 (基準年度)	基準値	743,832	kWh	1. 各種測定及びデータ入力(電力使用量、電気料金) 2. 電力消費量調査 3. 環境活動取組み調査 4. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 5. 定期的な節電の注意喚起の実施 6. クールビズ/ウォームビズに対応した服装の工夫 7. 事務所内の蛍光灯紐スイッチを利用した節電への取組 8. 長時間の離席や外出時、他社員に配慮し自席の照明を消す 9. 室温設定ルール(冷房使用時 28℃、暖房使用時 20℃)の順守	
			CO2	392,743	kg-CO2		
		2021 年度	対基準値比	98.5	%		
			目標値	732,675	kWh		
			CO2	386,852	kg-CO2		
		2022 年度目標 基準値比 97.5% 2023 年度目標 基準値比 96.5%					
	灯油使用量の削減	2020 年度 (基準年度)	基準値	1,174	L		1. 各種測定及びデータ入力(灯油使用量、灯油料金) 2. 環境活動取組み調査 3. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 4. ウォームビズに対応した重ね着などの服装の工夫
			CO2	2,926	kg-CO2		
		2021 年度	対基準値比	98.5	%		
			目標値	1,156	L		
			CO2	2,882	kg-CO2		
		2022 年度目標 基準値比 97.5% 2023 年度目標 基準値比 96.5%					
	社有車の燃費向上	2020 年度 (基準年度)	基準値	16.74	km/L	1. 各種測定及びデータ入力(社有車燃費、ガソリン使用量、ガソリン料金) 2. 環境活動取組み調査 3. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 4. 「エコドライブ 10 のすすめ」の励行 5. 「エコドライブ 10 のすすめ」カードを取り付け、運転前に確認	
			ガソリン使用量	16,913	L		
			CO2	39,265	kg-CO2		
		2021 年度	対基準値比	維持			
			目標値	16.74	km/L		
			ガソリン使用量	16,913	L		
			CO2	39,265	kg-CO2		
		2022 年度目標 基準値 維持 2023 年度目標 基準値 維持 ※新型コロナウイルスの影響から基準値維持とする。					
総二酸化炭素排出量 ※1		2020 年度(基準年度)		434,934	kg-CO ₂		
		2021 年度		428,999	kg-CO ₂		
水使用量の削減	2020 年度 (基準年度)	基準値	1,132.0	m ³	1. 各種測定及びデータ入力(水使用量、水道料金) 2. 環境活動取組み調査 3. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価 4. 手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行 5. トイレ洗浄水量の節水を励行		
		2021 年度	対基準値比	98.5		%	
			目標値	1,115.0		m ³	
	2022 年度目標 基準値比 97.5% 2023 年度目標 基準値比 96.5% ※十和田営業所は、基準値がほぼ限界値であるため 目標の現状維持とする。						

※1 CO₂排出係数は、東北電力の調整後排出係数 0.528 kg-CO₂/kWh(2021 年 1 月 7 日公表)を使用

環境負荷項目		次年度環境経営目標				次年度環境経営計画
ごみ分別回収の徹底とリサイクルの推進	一般廃棄物	2020 年度 (基準年度)	基準値	6,464.5	kg	1. 各種測定及びデータ入力(一般廃棄物排出量、一般廃棄物料金)
			古紙リサイクル率	81.2	%	2. 環境活動取組み調査
		2021 年度	対基準値比	98.5	%	3. 環境経営目標達成状況、環境経営計画の実施状況等の確認及び評価
			目標値	6,367.5	kg	4. 会議資料等の簡素化、配付資料の削減
			古紙リサイクル率	82.0%以上		5. 両面、集約等の印刷及びコピーを徹底
		2022 年度目標 基準値比 97.5% 2023 年度目標 基準値比 96.5%				6. ミスコピー防止のため、使用前に設定確認と使用後のリセットを励行
	産業廃棄物	2020 年度 (基準年度)	基準値	616.9	kg	7. 「ごみ分別ルール」の定期的な公開
			対基準値比	98.5	%	8. 社内の「ごみ分別ルール」を順守
		2021 年度	目標値	607.7	kg	9. 分別回収ボックスを利用して、ごみ分別を徹底する
	2022 年度目標 基準値比 97.5% 2023 年度目標 基準値比 96.5%				10. 裏紙の再利用(個人情報や機密情報が印刷されていないもの)	
資源リサイクルの推進	■ トナーカートリッジ回収				1. トナーカートリッジのリサイクルを図る	
グリーン購入の推進		■ 必要性を考えた上で、環境への負荷が出来るだけ小さい製品を優先的に購入する				1. 品目リストの確認
環境に配慮した製品の販売促進・情報提供		■ 環境配慮型商品(PCグリーンラベル制度に適合したパソコンやディスプレイ等)の販売、情報提供 ■ 業務効率的なソリューション提案・販売 ■ 顧客使用済PC等機器の回収とリサイクルの推進 ■ 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスの向上				1. 環境活動取組み調査 2. 環境配慮型商品(PCグリーンラベル制度に適合したパソコンやディスプレイ等)の販売、情報提供 3. 業務効率的なソリューション提案・販売
5S・3R運動の推進強化による作業環境の改善		■ 「ごみ分別ルール」の徹底 ■ 「クリアデスク」の徹底				1. 環境活動取組み調査 2. 「ごみ分別ルール」の定期的な公開 3. 分別回収ボックスを利用して、ごみ分別を徹底する 4. 事務室内の環境美化 5. 会社敷地内の草取りや芝生の手入れ 6. エントランス等の観葉植物の手入れ 7. 詰め替え製品(コーヒー・食器用洗剤・ボールペン替芯等)の使用及び購入
環境保護活動への貢献		■ 地域の清掃活動(問屋町合同清掃)に参加 (4月～10月/年7回)				1. 地域の清掃活動(問屋町合同清掃)に参加 (4月～10月/年7回)
法令順守		■ 法令違反0件 ■ 国や府省が定めた法令・省令や自治体等が定めた条例規則等を順守 ■ 環境に関連する地域の協定、顧客からの要請、業界団体の取り決め、社内ルール等の順守				1. 環境関連法規等見直し(法改正、自治体のHPの確認を含む) 2. 環境関連法規等の順守状況評価 3. マニフェスト伝票交付者による交付等状況報告 4. 環境活動取組み調査 5. 空調機の簡易点検(年4回実施) 6. 空調機の定期点検 (総務部…3年に1回実施 運用サービス課…1年に2回実施)
環境コミュニケーション		■ 社内GW(サイボウズ)の掲示板を利用した環境に関する情報発信。従業員は情報発信を一読する				1. 環境経営レポートの公開 2. 四半期毎の環境活動取組み状況報告 3. 社内GW(サイボウズ)の掲示板を利用した環境に関する情報発信
化学物質使用量の削減		■ 指定化学物質等取扱事業者からの情報(SDS)を確認				1. 指定化学物質等取扱事業者からの情報(SDS)を確認



2020 年に実施した教育・訓練は以下の通りです。

一般社員教育

実施期間	2020 年 7 月 13 日 (月)～2020 年 7 月 31 日 (金)
目的	環境経営目標及び環境経営計画達成に向けての一人ひとりの意識付けと社内ルールへの周知徹底を図る
対象範囲	本社に勤務する常勤役員、社員、パート、八戸支店と十和田営業所に勤務する社員
教育内容	1. 環境経営方針の確認 2. 今年度の環境経営目標及び環境経営計画 3. ごみ分別ルールについて 4. エコドライブ 10 のすすめ 5. 環境活動レポート(2019 年度の活動状況)の確認 6. 「火災警報時行動マニュアル」確認 ※2020 年の教育は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合教育は行わず、サイボウズでの資料閲覧及び資料配布を行った。

消防訓練 本社

訓練実施日時	2020 年 6 月 23 日 (火) 9:00～9:20
目的	大規模な災害が発生した場合に、自衛消防組織が機能し、適切な行動で避難できるようにする。
訓練内容	自衛消防組織の各担当者の役割を理解し、適切な行動ができるようにする。 適切な避難経路で避難できるようにする。 1. 通報訓練: 館内放送による火災発生連絡 119 番通報 (模擬) 2. 消火訓練: 消火器での初期消火活動 (放射しない) 消火器の使用方法を説明し、訓練用の水消火器を使用して放射体験 3. 避難訓練: 2・3 階の避難経路として、非常階段を使用し、目標集合時間 3 分 30 秒以内に避難場所へ集合する 階段踊り場の「排煙窓」を開ける 4. 防犯訓練: 防犯器具 (サスマタ、催涙スプレー) の保管場所を説明
訓練結果	・自衛消防組織は、各担当者が迅速に行動できており、特に問題はありませんでした。 ・避難については、目標集合時間 3 分 30 秒以内に避難できていたので良かった。 全員集合までの時間 今 回 (3 分 18 秒) 2019 年 (2 分 35 秒) 2018 年 (2 分 40 秒)

本社 消防訓練の様子

1. 通報訓練



2. 消火訓練



消防避難訓練 十和田営業所

訓練実施日時	2020年6月26日(金) 9:30～10:00
目的	火災が発生した際、被害を最小限に、迅速に行動できるようにする。 消火器と救急箱の設置場所を再確認する。
訓練内容	1. 火災発生 全員に火災発生を通知する。 2. 消火訓練 バケツ(たらい)、消火器での初期消火活動(模擬)をする。 3. 通報訓練 119番へ通報(模擬)をする。 4. 避難場所(隣の公園)へ避難 ※雨の為、玄関前に集合 避難者の点呼確認(ケガ等の有無も確認)をする。
訓練結果	問題点:無 ・火災発生時の初期消火活動において、消火器・バケツ・救急箱の設置場所を再確認することができた。 ・消火器やバケツが、直ぐに手にすることができる使用可能な状態であることを確認できた。 ・救急箱の中身と、消火器の使用期限が切れていないことも確認した(2022年迄有効)。 ・隣の公園や近所で急病人があった際の手順も確認した。 119番通報、AEDは近くのコンビニ、救急車到着までの救命措置については、「応急手当講習テキスト5版」(営業所に1冊)を各自確認しておくとした。

十和田営業所 消防訓練の様子

1. 火災発生



2. 消火訓練



3. 通報訓練



4. 避難場所(隣の公園)へ避難



灯油漏れ対応訓練

訓練実施日時	2020年10月1日(木) 9:30～10:15
訓練場所	本社社屋 1階ポンプ室・1階事務室
目的	1. 灯油漏れが発生した時、被害を最小限に食い止めるため、迅速に行動できる様にする 2. 備品確認
訓練内容	1. 応急処置訓練 配管から漏れている箇所吸着マットを敷き、雑巾・ガムテープでふさぐ。 2. 実地確認訓練 ヘルメット着用の上で、1階ポンプ室の電源を切り、配管バルブを閉じる。〈模擬〉 3. 灯油漏れ発生報告訓練 喫煙所に居る社員を速やかに避難誘導する。〈模擬〉 館内放送により喫煙所を禁煙・立入禁止にする旨を周知する。〈模擬〉 カラーコーンを設置して喫煙所を封鎖する。 4. 運用サービス課への連絡訓練 2階運用サービス課へ、自家発電への切替に支障をきたす可能性があることを報告。〈模擬〉 5. 業者への連絡訓練 業者へ配管点検と修理依頼の連絡。〈模擬〉 6. 備品確認 非常備品置き場にある吸着マット・ちり取り・バケツ・雑巾を確認。
訓練結果	訓練に同行した部長より「灯油漏れが発生した時は、どのようにして発見できるのか」との質問あり。 →発見するタイミングは、以下の通り。 1. 総務部員が灯油残量確認などで月に数回、ポンプ室に出入りするため、遅くとも発生から1か月以内に確認できる。 2. 灯油は臭いがきついため、油っぽいにおいがすると社員から報告を受けた時、その都度ポンプ室を確認 3. 総務部員が、四半期毎に防火設備点検によりポンプ室内の点検を行っている。
備考	新型コロナウイルス対策として、訓練実施後にヘルメットの消毒を、清掃員へ依頼した。

灯油漏れ対応訓練の様子

1. 応急処置



2. 実施確認



3. 灯油漏れ発生報告

4. 運用サービス課への連絡



5. 業者への連絡





内部監査

アグリビジネス部販売情報課と総務部の内部監査を実施



内部監査結果

監査実施日	2020年11月10日(火) 13:30～14:15
被監査対象部門	アグリビジネス部 販売情報課
監査項目	1. 環境経営マネジメントシステムの運用状況に関する監査 2. 各種の対策が実施され、ルールが守られているか、ルールが効果的であるかを確認 ①記録「環境活動取組み調査シート」に関する項目の確認 ②ごみ分別ルール等の確認
監査結果 【監査結果の評価:問題なし】	社内ルールが順守され、環境活動についても問題なく行われていました。 「重点項目(適切なエアコンの使用を心がける)」の具体的な取組みとしては、社有車の燃費向上の為にエアコンを極力使用せず、窓を開けて走ったり、車内で休憩しない等を心掛けられていました。 日常生活においても、ハイブリット車の購入やアイドリングストップを実践している等、燃費向上への意識の高さが感じられました。

監査実施日	2020年11月10日(火) 14:40～15:20
被監査対象部門	総務部
監査項目	1. 環境経営マネジメントシステムの運用状況に関する監査 2. 各種の対策が実施され、ルールが守られているか、ルールが効果的であるかを確認 ①記録「環境活動取組み調査シート」に関する項目の確認 ②ごみ分別ルール等の確認
監査結果 【監査結果の評価:問題なし】	社内ルールが順守され、環境活動についても問題なく行われていました。 「重点項目(古紙リサイクルの徹底)」の具体的な取組としては、業務で紙を多く使用するので、紙ごみを出さない・再利用・分別が心掛けられ、実施されていました。 日常生活においても、ごみ分別を注意するようになったり、会社で取り組んでいる乾電池の捨て方や3Rを実施しており、環境への意識が感じられました。



環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

当社に適用される主な環境関連法規等の一覧及びそれらの順守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。なお、関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間ありません。また、近隣からの苦情、訴訟等もありませんでした。



代表者による全体の評価と見直し・指示

環境経営活動については、非常に良く取り組んでいると思います。

しかし、社内ルールが順守されていない事象も見受けられるため、ルール違反や問題が発生した際にはできるだけ早い段階で注意喚起をしていきます。

今後も、全社員の環境経営活動の理解と意識向上のために情報発信・注意喚起を継続し、環境経営活動に取り組むことが重要と考え、目標達成に向けて気を緩めることなく、環境負荷低減に努めてまいります。